

第13回 河川生態学術研究会 研究発表会

River Ecology Research Group of Japan

開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。

河川生態学術研究会は、現在4つの河川別の研究グループ及び河川総合研究グループの5つの研究グループが活動していますが、この度、それら各研究グループによる研究成果を一同に会して発表する場として、研究発表会を下記の日程で開催を予定しております。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様との意見・情報交換を通じて更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。

敬具

平成22年10月吉日
河川生態学術研究委員会
委員長 谷田 一三

記

●日程

日時：平成22年11月10日(水) 10:30～17:30

内容：各研究グループの研究発表（口頭発表・ポスター発表）

場所：発明会館ホール（別図を参照）

東京都港区虎ノ門2丁目9番14号

TEL：03-3502-5499

東京メトロ銀座線	虎ノ門駅	3番出口／徒歩5分
東京メトロ日比谷線	神谷町駅	4番出口／徒歩6分
東京メトロ千代田線	霞が関駅	A13番出口／徒歩13分

募集人員：90名

申込締切：定員になり次第

◎主催：河川生態学術研究会

◎後援：応用生態工学会

◎問い合わせ先：(財)リバーフロント整備センター 河川生態学術研究会事務局

担当：内藤 正彦、伊藤 将文、小川 豪司

Tel：03-6228-3860

Fax：03-3523-0640

E-mail：ito-m@rfc.or.jp

第13回 河川生態学術研究会 研究発表会プログラム

日時：平成22年11月10日(水) 10:30～17:30

於：発明会館（東京都港区）

- I. 開会挨拶 河川生態学術研究会委員長 10:30～10:35
- II. 各研究グループの研究発表
1. 岩木川研究グループ 座長（佐々木 幹夫 代表） 10:35～11:20
計 45 分
- ・ 概要報告
 - ・ 岩木川下流葦原に生息するオオセッカの現在
東 信行*（弘前大学農学生命科学部 准教授）
 - ・ 集水域からみた岩木川の生態系機能：炭素輸送量とその起源
占部 城太郎*（東北大学大学院生命科学研究科 教授）
岩田 智也（山梨大学工学部）
- ***** 昼 食 ***** 11:20～12:50
〔ポスターセッション（講演会場外）〕 11:20～12:50
2. 五ヶ瀬川水系研究グループ 座長（岩本 俊孝 教授(代表代理)） 12:50～13:35
計 45 分
- ・ 概要報告
 - ・ “河川生態系変動予測モデル”を用いた実務用ツール構築に向けた取り組み
服部 敦*（国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 室長）
 - ・ 五ヶ瀬川の魚類に関する安定同位体分析とハゼ類の DNA データベース作成について
小池 裕子*（九州大学総合研究博物館）
3. 多摩川研究グループ 座長（星野 義延 代表） 13:35～14:20
計 45 分
- ・ 概要報告
 - ・ 礫河原造成地の植生遷移と出水の及ぼす影響
島瀬 頼子*（(財)自然環境研究センター）・星野 義延（東京農工大学 農学部）
 - ・ 多摩川中流域の河道形成機構とハリエンジュの動態～堰と土丹の影響に着目して～
知花 武佳（東京大学大学院 工学系研究科）・福島 雅紀*（独立行政法人
土木研究所 水工研究グループ）・原田 大輔*（東京大学大学院 工学系研究科）
4. 千曲川研究グループ 座長（中村 浩志 代表） 14:20～15:05
計 45 分
- ・ 概要報告
 - ・ 千曲川中流域における基礎生産－測定手法の検討－
戸田 任重*（信州大学理学部物質循環学科生態システム解析講座 教授）
 - ・ 千曲川中流域における飛翔昆虫の動態
平林 公男*（信州大学繊維学部応用生物学系生物資源・環境科学課程 教授）
5. 河川総合研究グループ 座長（島谷 幸宏 代表） 15:05～15:35
計 30 分
- ・ 概要報告
6. 独立行政法人土木研究所自然共生センターからの報告
萱場 祐一* 自然共生研究センター長 15:35～16:15
- ***** 休 憩 ***** 16:15～16:25
- III. 総合討論 島谷 幸宏 代表・星野 義延 代表 16:25～17:25
計 60 分
- IV. 閉会挨拶 17:25～17:30

第13回 河川生態学術研究会 研究発表会 ポスターセッション

会 場： 発明会館 受付前ホール
セッション時間： 11:50～12:50 (ポスター閲覧時間 10:30～16:40)

[*は発表者]

1. 岩木川研究グループ

- P1-A 岩木川十三湖における水理・水質特性
田中 仁* (東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授)
- P1-B 十三湖におけるシルト・粘土の捕捉に着目した土砂動態の実態把握
望月 貴文* (国土技術政策総合研究所 環境研究部 河川環境研究室 研究官)

2. 千曲川研究グループ

- P2-A 千曲川中流域における魚食性鳥類の分布について
中村 浩志 (信州大学 教育学部 教授)
小林 雄樹* (信州大学 教育学部)
原 史織 (長野市立朝陽小学校)
- P2-B 千曲川水系・天竜川水系におけるヒゲナガカワトビケラの個体群構造と遺伝的構造
関根 一希* (信州大学大学院 総合工学系研究科 山岳地域環境科学専攻 博士課程)
加藤 慎也 (信州大学 理学部)
東城 幸治 (信州大学 理学部 生物科学科 助教)
- P2-C 千曲川高水敷のアレチウリ埋土種子分布特性と埋土種子発芽抑制・除去に関する取り組み
傳田 正利* (独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チーム主任研究員)
三輪 準二 (独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ 河川生態チーム上席研究員)
- P2-D 外来種対策と河道内樹木管理技術の確立～河川生態学術研究の河川管理への応用～
新村 信明* (国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所 調査課専門調査員)

3. 五ヶ瀬川水系研究グループ

- P3-A 中国・東苕溪川流域における魚類群集と環境要因との関係について
佐藤 辰郎*・島谷 幸宏 (九州大学大学院工学研究院環境都市部門)
- P3-B 北川の魚類相が豊かな訳一河口域のハゼ類を指標とした北川・五ヶ瀬川・大瀬川の比較・検討一
鬼倉 徳雄* (九州大学大学院 農学研究院)

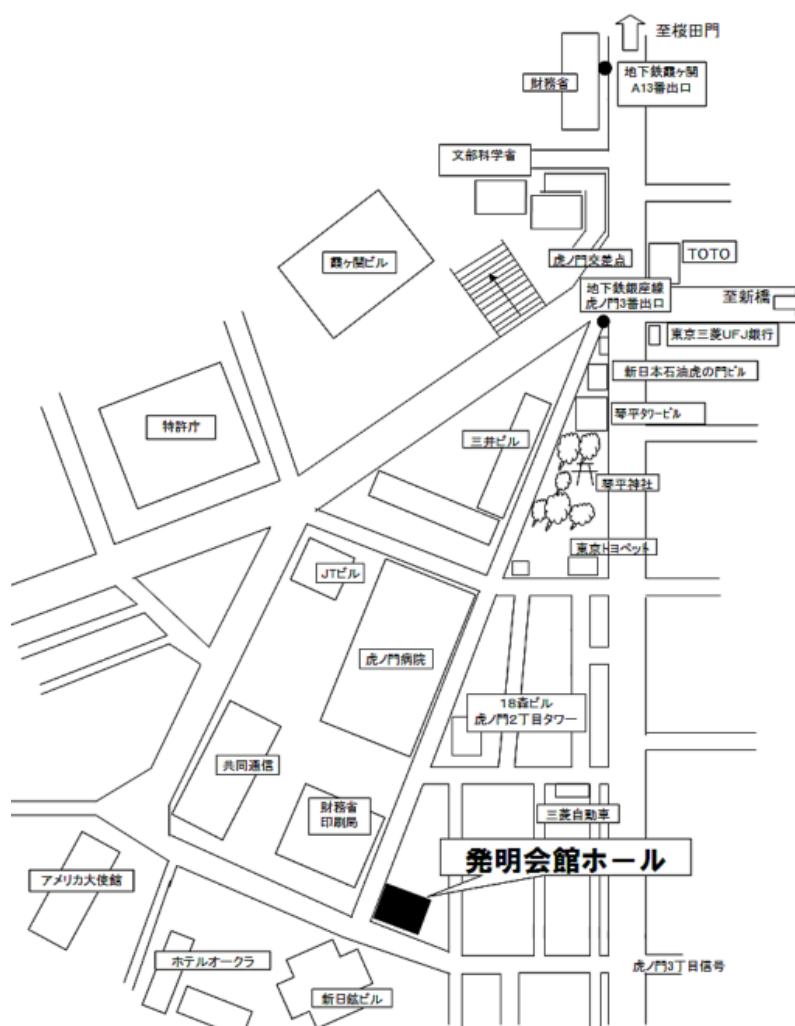
4. 多摩川研究グループ

- P4-A カワラノギク生育地造成の試験施工と本施工の相違点
倉本 宣* (明治大学 農学部 教授)
- P4-B 失火による延焼が河川高水敷の草原群落の種組成に与えた影響
吉川 正人* (東京農工大学 農学部 地域生態システム学科 助教)

第13回 河川生態学術研究会 研究発表会 会場案内

日時：平成21年11月10日(木) 10:30~17:30
開催場所：発明会館ホール
東京都港区虎ノ門2丁目9番14号
TEL：03-3502-5499

東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 3番出口／徒歩5分
東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4番出口／徒歩6分
東京メトロ千代田線 霞が関駅 A13番出口／徒歩13分



会場位置図

※ 車でお越しは、ご遠慮下さい。

送付先

(財)リバーフロント整備センター 河川・海岸グループ 伊藤 将文 行

F a x : 0 3 - 3 5 2 3 - 0 6 4 0

E-mail : ito-m@rfc.or.jp

第 13 回 河川生態学術研究会研究発表会の参加申し込み

開催日時：平成 22 年 11 月 10 日(水) 10:30～17:30

ご芳名

ご所属

ご連絡先

ご連絡先は、代表者のご連絡先をご記入ください。
(電話、ファックス、E-mail のいずれか)

(同行者ご芳名)

※ 代表者のご芳名、ご所属、ご連絡先は必ずご記入下さい。

※ 同行される方がある場合は、その方のご氏名をご記入お願いいたします。

※ お手数ですが事務局宛に F a x またはメールにてご返信下さい。